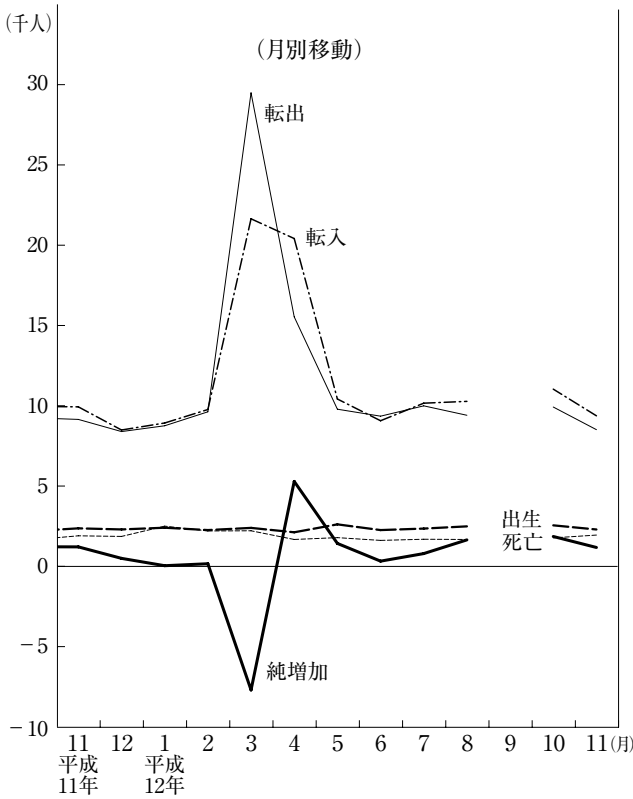
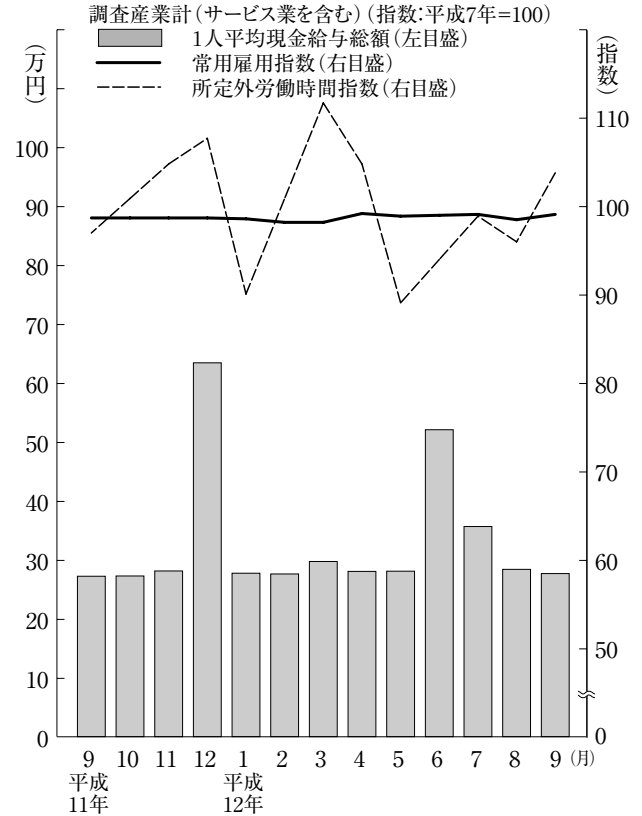


今月の主な動き

人 口



賃金・労働時間・雇用



■人口 (12年12月1日)

11月の概況

本県の人口は、11月中に1,210人増加し、12月1日現在で**2,988,529人**（男1,489,512人，女1,499,017人）となった。

内訳は、自然動態で、347人（出生2,330人，死亡1,983人）増加し、社会動態で、863人（転入9,410人，転出8,547人）増加した。前年同月と比べると12,940人（-0.4%）の減少である。

市町村別では、増加が13市40町村，減少が7市22町村，増減なしが2町1村である。

世帯数についても11月中に1,288世帯増加し，**988,217世帯**となった。

■賃金・労働時間・雇用 (12年9月)

1. 平均賃金の推移

9月の現金給与総額は，調査産業計で，**276,675円**，対前年同月比1.8%増であった。現金給与総額のうち，きまって支給する給与は273,665円，対前年同月比1.9%増であった。特別に支払われた給与は，3,010円であった。

2. 労働時間

9月の総実労働時間は，調査産業計で，**156.4時間**，対前年同月比1.3%増であった。総実労働時間のうち，所定内労働時間は145.8時間，対前年同月比1.0%増であった。所定外労働時間は10.6時間，対前年同月比7.0%増であった。

3. 雇用の動き

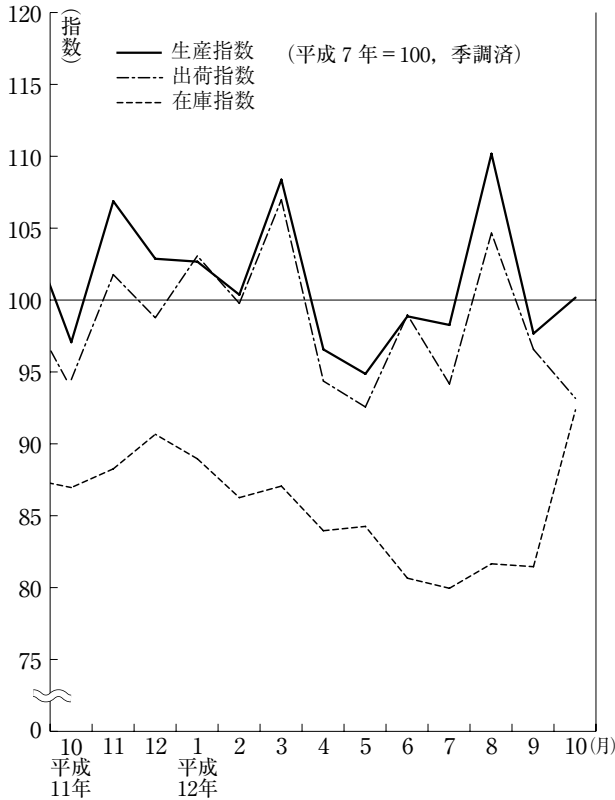
9月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると，対前年同月比0.4%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお，事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

●今月の主な動き ● ●今月の主な動き ●

鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉

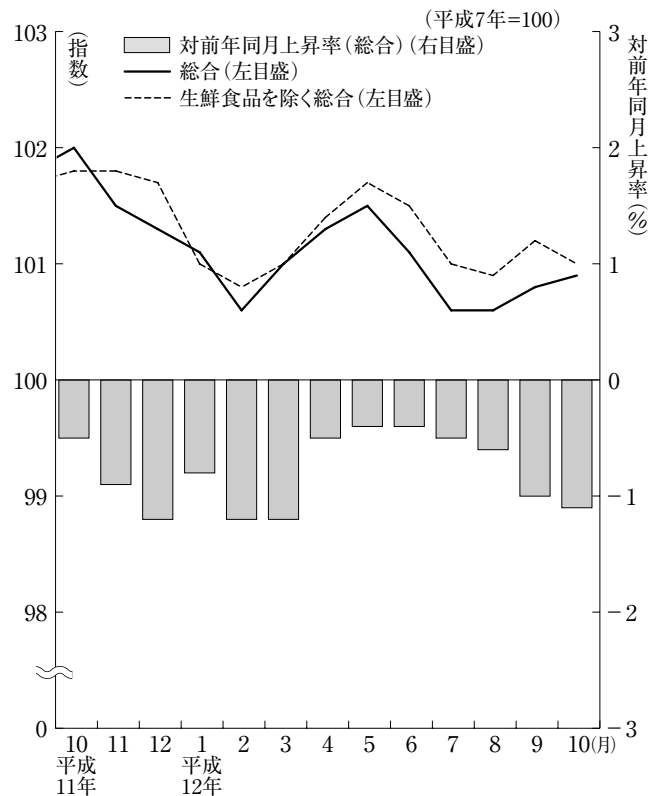


■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(12年10月)

本県における平成12年10月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で生産が**100.1**、出荷が**93.1**、在庫が**92.3**であった。

- 1 生産の前月比は2.9%の上昇、前年同月比は3.2%の上昇であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、電気機械工業、繊維工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、プラスチック製品工業等が低下した。財別にみると、耐久消費財、非耐久消費財等が上昇し、建設財、その他用生産財が低下した。
- 2 出荷の前月比は△3.5%の低下、前年同月比は△1.3%の低下であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、電気機械工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、一般機械工業、鉄鋼業、プラスチック製品工業等が低下した。財別にみると、非耐久消費財、耐久消費財が上昇し、資本財、建設財等が低下した。
- 3 在庫の前月比は13.4%の上昇、前年同月比は6.2%の上昇であった。業種別に前月比をみると、電気機械工業、精密機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、鉱業、食料品・たばこ工業、窯業・土石製品工業等が低下した。財別にみると、鉱工業用生産財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財が低下した。

消費者物価指数



■消費者物価指数(12年10月)

平成12年10月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で**100.9**(平成7年=100)となり、対前月比は(+)**0.1%**上昇し、対前年同月比は(-)**1.1%**の下落となった。

今月の上がった主な項目…生鮮野菜 6.7%

生鮮果物16.3%

今月の下がった主な項目…電気・ガス代 (-) 2.0%

通信 (-) 5.7%

生鮮食品を除く総合は101.0となり、対前月比は(-)**0.2%**下落し、対前年同月比も(-)**0.8%**の下落となった。

■費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	100.9	0.1	△1.1	保健医療	111.4	△0.3	0.3
食料	100.5	0.8	△2.3	交通通信	97.2	△0.5	△0.3
住居	101.8	△0.2	0.0	教育	109.1	0.0	0.7
光熱・水道	101.5	△1.3	0.2	教養娯楽	98.0	△0.2	△0.6
家具・家事用品	93.0	△0.2	△3.3	諸雑費	102.4	0.0	△0.2
被服及び履物	104.1	0.1	△4.2	生鮮食品を除く総合	101.0	△0.2	△0.8